

「中地域まちづくり」かわら版

～「地域のつながり・向こう三軒両隣」の絆を求めて～

発行者 大口町中地域自治組織
協働 大口町地域協働課

○ 令和3年度 地域協力員のみなさん

各区から以下の方々が、事業の企画・実施に協力して下さることになりました。
1年間よろしくお願いいたします。

随時、地域協力員募集中！

○ 余野区

川手 久	工藤 和憲	幸村 登志男	近藤 義文	澤田 正
鈴木 大斗	土屋 龍一	伊佐地 かおり	大平 里子	木下 可奈子

○ 垣田区

大須賀 娟子	河野 博子	白瀬 マイリン	田口 都代子	竹腰 豊子
ポウラ・ルパ	ラマ・レーヌ			

○ さつきヶ丘区

早瀬 政彦	馬淵 一善	鈴木 照子	竹澤 由美	馬淵 クリスチナ
水野 名緒子	保浦 さち子	渡辺 美佐子		

○ 余野区こどもフェスティバル & 夏休みチャレンジ講座2021 に参加

余野区こどもフェスティバル 7/31 (土)

夏休みチャレンジ講座 8/4 (水)

風が吹くと光るよ 光風鈴作り

五条川の桜の木を使ったキーホルダーとマグネットを作ろう



✪ 多くの子どもたちが、楽しんで参加してくれました。

庭木の剪定、電球交換など日常生活のお困りごとを平安会館がお手伝い♪

まごでのサービス

20分 税込500円

会員様は利用額を葬儀費用からお引きするので実質ゼロ円！
(上限3万円、領収書と引換)

館長 松本

お葬式って いくらかかるの？
何を用意すればいいの？

知って安心! **無料 個別相談** してみませんか?

大口町中地域にお住いの皆様には お得な町内割引があります!

平安会館大口斎場
丹羽郡大口町余野3丁目1番
一宮本社 ☎ 0586-72-0400

シオンと分からない封筒と「親展」でお送りします!

もれなく無料で **累計600人突破**
エンディングノート
プレゼント中!!

お葬式をわかりやすく 24時間対応(年中無休)お気軽にご相談ください

シオン ☎ 0120-000-400

❖ 大口町中地域自治組織事務所

余野一丁目127番地

TEL/FAX 0587-75-0675

Email oguchi-naka@mf.ccnw.ne.jp

月水木 9-17時受付 (12-13時除く)



○ 防災の日に寄せて

東南海地震の体験

中地域自治組織 会長 近藤 喜昭

昭和19年12月7日 午後2時頃、東南海地震 発生

当時、自分は5歳と1か月（保育園の年中に該当）で、断片的に地震の記憶がある。

当日、母と弟の3人で日当たりの良い南向きの小屋で、蒸かしたさつまいもを食べていた。その時、母が突然大声で叫んだが何のことかわからず、母の着物に掴まり母は弟を抱き小屋の外へと逃げ出した。足が思うように動かなく走ることができなかった。周りを観ると隣の家が大きく揺れ、屋敷中にあった、ガラスを外し骨組みだけの温室が崩れてゆくのを見た。（戦時中、空からの反射を防ぐため光るものを取り除くよう通達があり、温室のガラスが外してあった）

地震の怖さはあまり記憶にない。神経質だった母の叫び声だけが耳に残っている。当時は戦時中で父は戦地に赴き留守であり、支える人がいないことが、母に恐怖が輪をかけていただろう。たぶん、祖父と叔母（昭和2年生）は畑仕事だったと思う。

地震が収まった後、母屋に入って驚いた。障子紙は破れ、帯戸がばらばらになっていたのを覚えている。たぶん家具は倒れていたと思う。地震発生後の2～3日後、風呂に水を入れ竈に火を入れ風呂が被害なく使うことができると母が言っていた。

地震発生から何日かが過ぎ（日数 不明）傾いた家を立て起こすための作業が行われるようになった。工事の人の（ひよかた？）の仕事を連日見に行った。作業で使用する道具が大変珍しく家に帰った後、家族にどんな道具だったかを話した記憶がある。余震が続き母屋が危険だったこともあり小屋の土間に藁を敷その上に筵、布団を敷いて寝た記憶がある。

地震から3～4ヶ月？ 過ぎた頃、戦地の父より手紙が届き地震があったようだが無事かという内容が書いてあったと母が言っていた。（当時、兵隊には報道規制が徹底されていたようだ。）

三河地震（昭和20年1月10日）の事は当時余震も多くあり全く記憶にない。

*当時、水道は井戸水、台所や風呂は薪を使っていたので震災があっても、日々の生活は何とか送ることができた。現在は、スイッチ一つで明かりが灯り、蛇口を捻れば水、お湯が、コンロのスイッチを押せば火が使える、日々快適な生活を送っている。

地震で生活のインフラが被害を受ければ困難な生活となる。

- * 各家庭で、地震対策の再確認と、7日分の備蓄を心がけましょう。
- * 西小学校が、避難場所です。

